



三隅中学校だより

第11号 令和5年3月20日号
〒699-3225
浜田市三隅町古市場 1991
TEL 0855-32-0062
FAX 0855-32-0164
E-mail: misumi-j@hamada.ed.jp

【卒業式】

3月11日（土）、第22回卒業証書授与式を挙行いたしました。在校生および保護者の皆様に見守られ、40名の卒業生が新しい世界に巣立っていきました。

卒業式では、式辞として次のようなお話をしました。（抜粋）

皆さんの中学校生活は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、「Withコロナ」を強いられた3年間でした。今まで通りだったら・・・といった、残念な思いをしてきたことも多かったのではないのでしょうか。しかし、一方で見方を変えると、皆さんは、その大変な中を「どうしたらできるかを考え、創意工夫しながらやり抜いた、対応する力を身につけた」中学校生活であったと、間違いなく言えると思っています。それは、皆さんが全校をリードするために示してくれたスローガンにも表れています。

「MORE ～もっとよくしよう～」

「新時代 ～A Wonderful Memory～」

「One Chance ～この一瞬を一生の思い出に～」

- ・もっと良くするために自分たちで考える。・仲間と協力して新しいものをつくりだす。
- ・この一瞬をみんなで共有して思い出をつくる。

これらのスローガンに込めた強い意志を一年間通じて示してくれていました。

そんな卒業生のみなさんに、私が深く感銘を受けたことがあります。

それは、ある生徒と入試に向けた面接練習をしているときです。私が「中学校3年間の中で一番印象に残っていることは何ですか？」と尋ねた時、その生徒は「私たちは、仲が悪いときもあったけど、考えが違って相手の気持ちをしっかりと聴いて、自分の考えをきちんと伝えることで協力できることが分かりました。また、そのことによって、大きな力が発揮できることを体育祭や文化祭などの行事で感じることができたことです。」と答えてくれました。自分ごとで聴いてみてください。

- ・考えの違う人の意見。それを相手の気持ちをわかろうとして聞くことができますか？
- ・相手を否定することなく、「相手と違う考え」を分かるように伝えられますか？
- ・意見をたたかわせた後、素直に協力できますか？
- ・またこうしたエピソードを一番の思い出として、ことばにできますか？

大人にも難しいことだと思います。正直、私はできないことが度々あります。

また、このエピソードは、この生徒一人が素晴らしいだけでは成り立ちません。聞いてくれる相手、認めて協力し合う仲間、そしてこうしたことが、出来る集団・学年の空気感。創り上げてきた人間関係があるからこそ成り立つことだと思います。

これからの社会は多様性を認め合う社会、異なる立場の人間が協力・協働して創り上げる社会ともいわれています。その時、最も必要とされるものが、先ほどのエピソードの中に盛り込まれている、聴く力・伝える力・相手に共感する力などと言われています。ぜひ、この三隅の地で培ってきた力を基盤として、これから進む新しい社会へ自信をもって進んでいってほしいと思っています。

4月から皆さんが進む社会は、新たな人・もの・こととの出会いがあり、魅力にあふれています。一方で、中学校時代と一変し、思わぬ壁が前に立ちふさがったり、不安や心配が頭をよぎり自信を失ったりすることがあるかもしれません。それは駄目じゃないんですよ。そんな時はゆっくりと立ち止まり、心と体を休めることを大切にしてください。

覚えていてほしいことは、みなさんは決して一人ではないということです。温かく見守ってくれる家族や仲間がいます。そして先生もいます。そして、前向きに進んでいこうとする人には必ず応援してくれる人が現れるものです。安心して堂々と進んでいってほしいと思っています。

さて、最後に、それぞれの世界に羽ばたく卒業生の皆さん。一人一人が輝かしい未来を切り開き、心豊かに生き抜くことを願い、式辞といたします。

保護者の皆様、地域の皆様、この一年間中学校の活動に対して多大なご協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。今後とも三隅中学校の教育活動にご協力・ご支援をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

【3年生を送る会】3月9日（木）

5・6時間目に、「3年生を送る会」が行われました。生徒会の企画による「オープニングセレモニー」に始まり、「ワクワク・ドキドキチャレンジ対決」としてシュート、新聞手押し相撲、紙コップタワー、担任の先生クイズ、大縄跳びが3年生クラス対抗で行われました。そして、1・2年生はどちらが勝つか、それを予想するという全員参加の企画でした。次に「思い出クイズ」と題して、3年間の歩みをクイズで振り返るというものでした。そして、定番の「思い出スライドショー」で、3年間の学校生活の名場面を振り返りました。その後、1・2年生全員から3年生に向けて感謝の気持ちを書いた「メッセージ」が贈呈されました。「クロージング」では、1・2年生全員で風船を膨らませて花道を作り、3年生を送り出しました。

生徒会からの工夫を凝らした出し物に、3年生は終始笑顔で歓声をあげながら、また感謝の気持ちでこの3年を振り返っていました。



【働く人に聞いてみよう 地域インタビュー】3月2日（木）

町内の各まちづくりセンターに出かけ、1年生がインタビュー活動を行いました。はじめにまちづくりセンターの役割や地域での取組などについてお話をさせていただき、その後、「なりたい職業・なりたかった職業」「趣味」「行ってみたい場所」「好きな食べ物」「私の大失敗」「最近、はまっていること」などをテーマにトークを行いました。そして、緊張感もほぐれたところで、準備していた職業や働くことについてのインタビューを地域の人たちに向けて行いました。学校に帰ってからは、各まちづくりセンターで聞き取ったことをもとに地域の課題を考えました。そして、“地域を盛り上げるために私たちにできること”と題して、解決策を各班で考えて発表会をしました。

今回の訪問に、各まちづくりセンターから次のような感想をお寄せいただきました。一部ですが紹介します。

○自分たちだけで進行しようとする姿が良かったです。（岡見）

○これからもどんどん地域に出てきてほしいです。（白砂）

○はきはきと発言していて、戸惑いながらも頑張っていてよかったです。（三保）

○中学生の皆さんも地域のメンバーなので、今日の活動を生かしてほしいです。（黒沢）

○少子高齢化が進んでいて、中学生の人たちと話す機会がほとんどないので、今回みなさんの話を聞いて良かったです。（井野）

○最初は、進行に頭がいっぱいでまわりを見る余裕がなかったように思いましたが、だんだん周りの人への気配りなどが見られて、この時間の間の成長を感じました。（三隅）

今回の学習が、自分や地域の将来への関心を高め、自分たちの地域をよくするために地域の課題を見つけたりそれを解決したりする意欲を高めることにつながってほしいと思います。



【表彰】

第33回中学校柔道大会 女子個人1位 齋藤美里

令和4年度浜田市中学校体育連盟表彰

浜田市中学校総合体育大会柔道の部 男子団体3連覇 三隅中学校柔道部

中国中学校柔道大会 女子個人3位 齋藤美里

島根県中学校総合体育大会水泳競技の部 男子200m 平泳ぎ1位 平川遼

令和4年度卒業時島根県中学校体育連盟表彰 田中つばみ(体育委員長) 平川柑太(体育副委員長)

第11回しまね小中学生新聞コンクール 中学校3年生の部

優良賞 堤真依

入選 齋藤希優

佳作 西田真菜 三浦蔵之助 大木栞奈 小松蓮 佐々木空星

【まちづくりセンター 春休み自習教室開放のお知らせ】

春休み中の学習スペースとして利用されてはいかがでしょうか。環境が家とは変わることや友達と教え合えることで、勉強がはかどること間違いなし！（詳細は別紙配布しています）

・三隅まちづくりセンター…春休み自習室開放（参加料・事前申し込み不要）

3/13から4/10まで（平日のみ） 9:00～16:00

・三保まちづくりセンター…春休み図書室開放（受付で、名前・利用時間・連絡先記入）

3/13から4/7まで（平日のみ） 9:30～16:30